

昭和58年度 和歌山県文化功労賞

たま い いち ろう
玉 井 一 郎

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：大阪府

生 年：大正15年

◎業績及び経歴

(現)大阪歯科大学卒業

昭和24年から和歌山県立医科大学に勤務

昭和30年退職、和歌山市内で歯科医院を経営

昭和31年、京都大学より医学博士を授与

昭和30年頃から美術に関心を持ち、蒐集研究活動に入り、美術家、文化人等との交流がはじまる。

昭和44年、当地で初めて自費で画廊をつくり、社会福祉法人、愛徳整肢園に貸与して、地域画壇育成のために提供し、その収益金を全て当法人に寄付をつづけるなど、文化と福祉の接点を求めた文化活動を行う。

昭和40年より約10年間、信愛女子短期大学で講師、県民文化会館設立立案に参画、「テレビ和歌山」創立に尽力し、県文化表彰選考委員や県文化懇話会委員を務めるなど幅広い分野で活躍。

現在も、所蔵の美術品を公開し、文化を県民に広めるということを信条に、県立近代美術館へ美術品を寄贈するなど、県民文化の向上発展のため尽力している。

また、美術家諸氏に協力を求めチャリティーを主催し収益金を県の「愛の基金」へ納付するなど社会福祉活動にも力を入れている。

■現在

和歌山県立近代美術館運営委員長

〃 友の会々長

和歌山県民文化会館文化事業委員会々長

〃 友の会々長

和歌山県社会福祉協議会副会長

株式会社 テレビ和歌山取締役

和歌山県文化懇話会委員